

令和6年1月25日

# 令和6年能登半島地震の被災地支援のため 石川県輪島市へ区職員を派遣します

令和6年能登半島地震に伴う被災地の1日でも早い復旧・復興を支援するため、東京都から各区市町村への支援依頼に基づき、東京都の対口支援団体である石川県輪島市に職員を派遣し、り災証明書の発行に関する受付業務を支援します。

## 派遣内容

- 1 派遣期間・人員  
令和6年1月30日（火曜）～2月7日（水曜）の9日間  
職員1名（事務職・係員）
- 2 業務内容  
り災証明書の発行の受付業務

出発に先立ち、1月25日（木曜）午後3時15分から、武井雅昭港区長が激励会を行いました。

被災地へ派遣する職員から、「被災された方々は、水道が使えない状況であるなど、大変苦労されていると聞いている。これまでの経験を生かし、被災された方々の立場に寄り添った支援をしたい。」と抱負が述べられました。

これに対し、武井雅昭港区長は、「慣れない土地や職務環境の中で被災地支援に当たることになると思うが、1日でも早い復旧・復興のために頑張ってもらいたい。また、派遣から帰ってきた際に、この経験を区の業務に役立ててほしい。今後も寒い日が続くので、自身の健康管理を大切にしながら、現地の皆さんの力になってきてください。」と派遣職員を激励しました。



▲激励会の様子